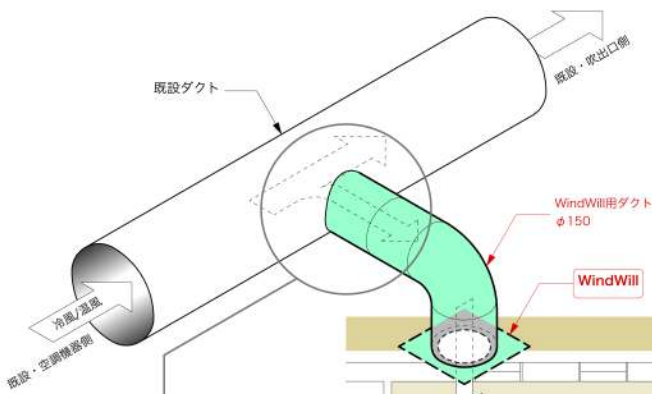


中央方式ダクト送風、ファンコイル方式への対応（既設の送風ダクトからの分岐方法）



【分岐方法】

空調風に分岐供給の容易さ：Y管 > T管 > ピンキー

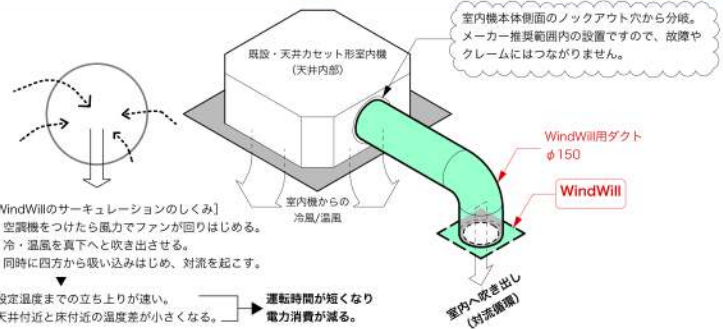
A) Y管・T管分岐

- 既設ダクトと同径のため風量の確保が容易です。
- 既設ダクトを切断する必要があります。
- ・ 既設空調機の静圧・風量に余力が必要です。
- ・ 引出口にVDが付いていれば風量供給が容易です。
- ・ AHUなどではチャンパボックスからの分岐も可能です（VDによる調整必要）

B) ピンキー分岐

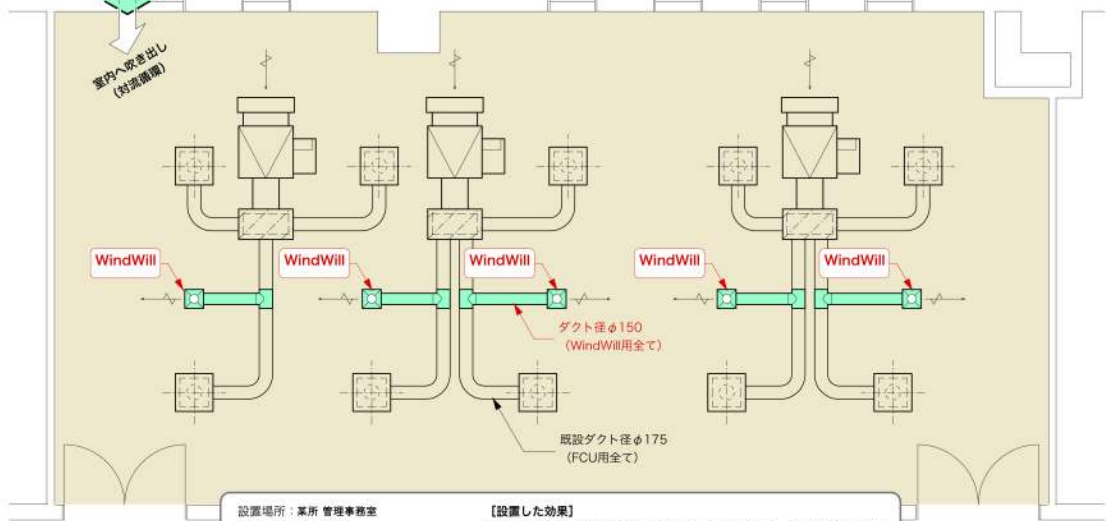
- 既設ダクトの切断が部分的で済みます。
- 分岐側のダクト径が既設ダクトより小さくなるため風量の確保には注意が必要です。

天井カセット形室内機への対応（WindWillの標準的な設置形態）



【平面図】 S=1:50

※メーカー、型式によって分岐方法が異なります。分岐方法の選定にあたっては設備仕様図もしくは現場による確認が必要となります。



設置場所：某所 管理事務室
部屋面積：約84m²
WindWill設置数：5台

【設置した効果】

室温設定温度を3~4℃ほど上げ（下げ）ことができ、電力を使用せずにこれを達成した功績により、施工窓口のY社が施主より表彰されました。

Project 無電力サーキュレータ「WindWill」	□Site/■Project 中央方式・ファンコイル方式 送風ダクト対応	株式会社エア・オプト	Sheet Title 分岐設置概念図	Scale Name ARK	Date (1) 2012/06/04	Sheet No. 01
---------------------------------	---	------------	------------------------	-------------------	------------------------	-----------------